

1. 科目名 (単位数)	異文化コミュニケーション教育演習 (2単位)		3. 科目番号	EIJP3171						
2. 授業担当教員	越野 香子									
4. 授業形態	講義、グループワーク、ディスカッション	5. 開講学期	春期							
6. 履修条件・他科目との関係	国際教育コース3年生必修科目									
7. 講義概要	<p>異文化コミュニケーションの教育の一つに、異文化トレーニングがある。異文化トレーニングは主に知識学習と体験学習に大別されるが、講義では知識学習としてトレーニングの種類や内容、効果など認知的側面を扱い、個人による作業も取り入れていく。</p> <p>実践では体験学習としてクラスで実施可能なペアワークやグループワークなどを取り入れながら、異文化コミュニケーションの情動や行動の側面についても訓練していく。また、トレーニングの実践後にはディブリーフィングやディスカッションなども実施し、ルールの違いや行動の意味などについて考えていく。クラスのサイズによってトレーニング内容を調整しながら実施していく。</p>									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未知の環境での生活やストレンジャーとのコミュニケーションに先立ち、擬似的に体験したり能動的に行動したりする訓練を通して、経験的知識を習得する。 2. 擬似異文化の社会的相互作用や人間関係の調整における情動を体感し、自己理解や成長を図り、説明できるようになる。 3. トレーニングを通して、問題の早期認識や判断、対応する力に結び付けできるようになる。 									
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>「異文化コミュニケーション」において各自の経験に基づき、1. 問題の所在を定義 2. 状況を分析 3. 問題解決のための効果的なコミュニケーション方法について考える、作業を通して講義が進むため、経験談やアクション・プランの提出が評価の対象となる。4. 試験・レポートについては、授業時にその都度テーマについて説明する。</p>									
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 随時、参考資料を配布する。 【参考書】 随時、授業で言及する。</p>									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準(学習目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 未知の環境での生活やストレンジャーとのコミュニケーションに先立ち、擬似的に体験したり能動的に行動したりする訓練を通して、経験的知識を習得できたか。 2. 擬似異文化の社会的相互作用や人間関係の調整における情動を体感し、自己理解や成長を図り、説明できたか。 3. トレーニングを通して、問題の早期認識や判断、対応する力に結び付けできたか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合的に評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. トレーニングの実践やグループワークへの参加程度</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> <tr> <td>2. トレーニング後のディブリーフィングやディスカッションでの発言の程度</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> <tr> <td>3. 試験・レポート</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> </table> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は原則として認められない。</p>				1. トレーニングの実践やグループワークへの参加程度	総合点の 40%	2. トレーニング後のディブリーフィングやディスカッションでの発言の程度	総合点の 40%	3. 試験・レポート	総合点の 20%
1. トレーニングの実践やグループワークへの参加程度	総合点の 40%									
2. トレーニング後のディブリーフィングやディスカッションでの発言の程度	総合点の 40%									
3. 試験・レポート	総合点の 20%									
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスを熟読し、講義の学習目標、成績評価等についてよく把握しておくこと。 2. iphone, smartphone, 携帯電話, その他通信機能のあるノートパソコンやタブレットの電源は切り、かばんの中にしまうこと。 3. 本学規定により、3/4 (4回) 以上欠席すると単位の修得が認められないので留意しておくこと (遅延については、遅延証明書を当日又は次回講義までに担当教員に提出すること。遅延の累計回数が多い場合、遅延を認めない場合もあるため、注意すること)。 4. 成績総合評価の内「授業への参加態度」は、授業での積極的参加 (発言等) も含むため、分からないことは積極的に質問し、意見を述べることを勧める。 5. 不正行為への対応等について、本学は、「東京福祉大学・短期大学部 研究活動における不正行為への対応等に関する規程」を平成 26 年 12 月 4 日に制定しています。詳しくは、本学ホームページの大学紹介・研究活動のところを参照してください。文部科学省のガイドラインでは、「学生に対する研究倫理教育」を行うことが要請されているので、皆さんは、大学で自分の学習成果をレポートにしたり発表したりしていくうえでの倫理、つまり、守らなければならない事があります。不正行為としては、1. 捏造(ねつぞう)、2. 改ざん、3. 盗用があります。不正行為については、適宜、処置がなされるので、これらについて十分に注意をして、勉学に臨んでください。 									
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第 1 回	国際社会においてなぜ効果的なコミュニケーションは重要なのか	事前学習	シラバスを確認し、扱うテーマや内容について把握しておく。							
		事後学習	講義内容を振り返り、授業の進め方について整理しておく。							
第 2 回	コミュニケーション能力はなぜ必要とされているのか	事前学習	各自個人的な「異文化コミュニケーション」の場面を振り返り、共有する準備をしておく。							
		事後学習	異文化トレーニングの始まりや歴史的背景について整理しておく。							

第3回	文化とコミュニケーション・トレーニングとは	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	「文化」について、自分がどのように定義しているのか考えを整理しておく。
第4回	「サード・カルチャー」について	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	議論から学んだ新しい疑問や語彙について分かったことを自分なりにまとめておく。
第5回	「障がい」と共文化	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	議論から学んだ新しい疑問や語彙について分かったことを自分なりにまとめておく。
第6回	多人種間でのコミュニケーション	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	議論から学んだ新しい疑問や語彙について分かったことを自分なりにまとめておく。
第7回	多国籍間でのコミュニケーション	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	議論から学んだ新しい疑問や語彙について分かったことを自分なりにまとめておく。
第8回	「ハラスメント」とコミュニケーション解決 社会的に構築されたアイデンティティとコミュニケーション	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	議論から学んだ新しい疑問や語彙について分かったことを自分なりにまとめておく。
第9回	コミュニケーション・スタイルと人間関係	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	議論から学んだ新しい疑問や語彙について分かったことを自分なりにまとめておく。
第10回	「ジェンダー」とコミュニケーション	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	議論から学んだ新しい疑問や語彙について分かったことを自分なりにまとめておく。
第11回	「積極性」と「主体性」	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	議論から学んだ新しい疑問や語彙について分かったことを自分なりにまとめておく。
第12回	国際感覚の「ずれ」とは？	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	議論から学んだ新しい疑問や語彙について分かったことを自分なりにまとめておく。
第13回	コミュニケーションを通しての交渉力	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	議論から学んだ新しい疑問や語彙について分かったことを自分なりにまとめておく。
第14回	海外で起こるコミュニケーション問題	事前学習	配布された資料を読んでおく。
		事後学習	議論から学んだ新しい疑問や語彙について分かったことを自分なりにまとめておく。
第15回	まとめ：問題解決への筋道	事前学習	これまでの授業を顧み、今後、異文化接触で起こりうる状況を想定し、どのように適切に対応できるか考える。
		事後学習	まとめから得られた意見を参考に、自分なりにノートを整理しておく。